

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 23 年 6 月 15 日(水) 19:30～20:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 6名 欠席委員数 1名

出席委員の氏名

深田 剛／稲沢 裕子／椛山 晶典／川畑 裕徳／俵 淳子／三井 直子

欠席委員の氏名

野村 真仁

放送事業者側出席者名

麓 憲吾／丸田 泰史／小野 健太郎／中原 優子／元井 庸介／上野 紋／渡 武志／宮田 愛

4 議題

番組内容の審議(「泉清次の甦る。こころの一曲」について)

5 議事の概要

(1) 番組内容の審議(「泉清次の甦る。こころの一曲」について)

(2) 次回の審議議題について

6 審議内容

(1) 番組内容の審議(「泉清次の甦る。こころの一曲」について)

川畑委員

北海道に行ったことがあり、何曲か流れていた中で、襟裳岬の曲を聞いたとき、一瞬にして襟裳岬の風景が頭に甦りました。襟裳岬では、森進一の襟裳岬の曲が 24 時間ずっと流れているんですね。僕は 30 代ですが、知らない曲でも泉さんの解説がよく、こういうこともあったんだ、という風に勉強になったりして、いい印象でした。

椛山委員

配られた CD 以外を聞いた後、普段の火曜日の放送分も聞きました。自分の年代とはまた違うけれども、パーソナリティ受けとかもよくて、話している内容もそれぞれの歌にとっても詳しくて、勉強になるというか、聞いていて面白いなど。あと、仕事で訪問した宇検のお宅の中で、70 代の方が枕元にラジオを置いて、寝ながらちょうどこの番組を聞いておられたりして、とてもいいと思いました。

稲沢副委員長

年代的に若い方がどう思うのか気になりました。私は、小さいときに親がこういった歌謡曲を聞いていて、自分自身としてはとても懐かしく、いいと思いました。ターゲットを絞った番組としてとてもいいと思います。おそらく年配の方々にはとても受けるといいますし、私も聞いていて楽しかったです。泉さんの雰囲気も、嫌味がなくとてもいい感じだなと思いました。ひとつ気になるのは、放送の時間帯を、もう少し年配の方々の生活スタイルに合わせたものに変えてもいいのではないのでしょうか。

俵委員

私は、まず新民謡って何？というところからで、最初はよくわからず、聞いてみて、ああ、こういう感じかと。60代後半ぐらいの方々がターゲット層かなと思いました。ちょうど親の世代かなと。自分たちも、何かきいたことがあるような曲でひきつけて、それぞれの地域についての話や思いが語られる、というように番組の構成がうまく、あきさせないところがいいなと感じました。聞いたことがない曲でも、泉さんの説明でイメージできたりとか、親世代が聞いていたせいか、親世代が生きた時代を想像できたりするのもよかったです。

しゃべり口調もやわらかくて聞き取りやすく、どんな世代も聞きやすいのではないかと思います。

電話でのリクエストに柔軟に対応してくれるのもいいなと思いました。

気になった点としては、雰囲気よく曲を聴いて、また行ってみたいなあと思ったところで、「襟裳はなにもなく、交通アクセスが悪い」といったので、ガクツとなったというか、残念な気がしました。知床もそんな感じ。もう一言、何もなくても、そこにもう少し、プラスイメージにつながるコメントがあるといいなと思いました。

また、北海道の次に何故東京？とってしまいました。他に地域がなかったのかな？とかってしまいました。南下していくとか時計回りでもなく、関連付けが見えてこなかったのが、少し気になりました。私の義母が新民謡が好きでコンサートに行ったりして、泉さんのことを知っていたのですが、ラジオをしているのは知らなくて、そういった年代層の方々への告知が不足している気がしました。

三井委員

私は、母と一緒に聞きました。60代の母は泉清次さんも知っていて、やはり歌をすごく知っているので、熱唱していました。泉さんの話し方もすごく聞きやすく、いい番組だと思いました。地域の話や思い出を通して、私と母の価値観の違いについて話したり、母にその時代のお話を教えてもらったりしました。

ターゲットを絞っているということで、年配の方にはこのままでいいと思うのですが、もう少し色をつけるとしたら、私は20代なのですが、そういった違う世代の人を入れて、時代背景についての説明が入ったり、60代と20代、30代、40代の世代間の価値観の差を話したり、そういったものも入ったりしてもいいのかなと思いました。そうすれば若い人もとつきやすく、また、60代の方々も若い人がこう思っているんだ、と知ることができたりして、相互にいいのではないかと思います。

深田委員長

ターゲットが絞られているのですが、いい番組であるので、幅広い世代にも聞いてもらえるようにするのも課題のひとつかと思いました。

団塊の世代に響く、いい番組だと思いました。先ほどの意見もありましたが、若い人に聞いてもらうには、ノスタルジック感というか、そういうものをうまく演出するにはどうすればいいかと考えました。ひとつの案としては、某新聞の「今日は何の日？」みたいな、何年前の月日には島ではこんなことがあった、というようなものがあって、そんな風に、この歌がはやっていた昭和〇〇年は島ではこんなことがあった、などキーワードでの結びつきを与えられれば、若い人ももっととつきやすいのではないのでしょうか。あと、泉さんの口調もすごくよく、昭和感がでていたというか。その話の時に、昭和感がでる、昔の商店街の音声を流すとか、そのころの音、豆腐屋さんのラップがなるとか、口調がすごく安定感があっていい分、そのような音声を後ろに入れてやるのも面白いのではないのでしょうか。

さて、皆さん一通り意見がでましたが、一時間の曲の数など、どう思われましたか？また、ゲストが来るということなどについてどう思いますか？

椋山委員

曲は、結構多いかとも思いましたが、音楽番組ということでそれでいいと思います。ゲストが来るということについては、最初、これを聞いたとき、一人で一時間持つのだろうか！？と思ったのですが、かかった曲を知らなくても、それでも全く気にならずに聞けました。

—放送局 元井より

先週初めてゲストを呼んだのですが、泉さんはゲストを呼ぶことに慣れていないので、逆にその方が崩れるというか、やりにくそうな気がしました。

野村委員(欠席のため文章にて事前提出、委員長より代読)

CDを試聴しました。前半の部分の内容については、とてもいいと思いました。番組構成から、以前名古屋で聞いた深夜番組のようで昔を思い出しました。放送時間帯にもよると思うのですが、夜に、仕事をしながら聞き流すスタンスがなんとなくしっくりくるなと思いました。年齢層については、35～50代の世代が非常に楽しい番組かと思いました。後半から対象リスナーがどこにあるのかがよくわからなくなりました。1時間の番組で、島んちゅ、島外出身者、観光客を含めた、全年齢層を幅広くカバーしようと思っているのかなと感じました。先ほども記載しましたが、放送時間帯の影響もあると思いますが、60分一本勝負ではなく、4つぐらいに区分した時間帯で放送してくれるとうれしいなと思いました。また、話される口調がNHKっぽいなあと思いました。ラジオは顔が見えない分、話し方、性質、スピードで、勝手に個々の人物を作り上げます。それはそれで実際に見たときのギャップを楽しめたりもしますが、ラジオはたいてい社内や一人で聞くことが多いと思いますので、特に昔を懐かしむ番組の場合は、口調は大切だなと思いました。

—野村委員意見以上—

—以下委員長—

野村さんとしては、対象のリスナーをしぼったほうがいいということですね。これまで出た意見としては、対象の年代以外にも幅広く聞いてもらえたらいいなというものでしたので、また違う意見がでてきたということですね。いろいろな考え方があり、参考になりました。逆に絞れば絞るほど熱狂的なファンが生まれるような番組になるというのも面白いですね。また、4つぐらいの時間帯に分けて放送するというのも非常に面白い発想ですね。今回、私は車で聞いたのですが、1時間途切れることなく、聞き込めました。

—放送局 元井より

今後の展開のことなのですが、僕としてはずいぶん上の世代の音楽なので、十分絞り込んでいるつもりなのですが、その中でも、泉さんたちの年代の中では、昭和20年代までの曲とか、それ以降の曲とか、いろいろと分類があるようなので、今後は、「来週はテーマを昭和20年代に絞るので、そのリクエストをお待ちしています」、というような特集を、一ヶ月に一回でも組むこと、などを考えています。

泉さんご自身が、老人ホームなどで歌いに行くことが多いので、そこでコメントをもらって思い出エピソードなどとともに曲をかけたらどうか、というような展望があります。

深田委員長

そうやって、直接リスナーの生の声を聞いて、番組の構成に生かすというのはとてもいいことだと思います。

一放送局 元井より

泉さんがご自身でそのようなことを考えられています。さらに、どの番組にも言えることですが、特にこの番組は、どうしても、リスナーの対象がご高齢の方なので、メールが使えず、電話でのリクエストが多いということがあり、その打開策をどうするか、ということがあります。ハガキでリクエストをくれたりもします。大変ありがたいのですが、どうしても、メールに比べて手軽にリクエストできない、ということがあります。

以下のような意見がでる。

- ・ そのやり取りがそのまま生で聞けても面白いかもしれませんね。
- ・ 一回電話をもらったら、生放送中になおしてもいいですか？と聞いておいて、あとで生放送に出演してもらっても面白いかも。リスナーの方も喜んでくださるかもしれません。話したいという方はいらっしゃると思います。話したい人と、話したくないけどリクエストだけしたい人と、分かれるかもしれませんが。
- ・ 聞く、というところから、自分で出演するということまで一連の流れができれば楽しいかもしれません。
- ・ 「甦るころの一曲」という題名なので、その人のストーリーというか、その人が島を出てからのエピソードなど、曲とともに甦る、その人が歩んできた人生の話なども少し聞けたら楽しいと思います。自分は人間が好きなので。
- ・ 始めは電話をかけるまでに勇気がいると思いますが、一回かけてこんな感じでいいのか、とわかってしまえばどんどんリクエストがくるかもしれません。
- ・ メールであれば返信してまた返信が帰ってくるまでに時間がかかりますが、電話ならタイムリーに対応できますね。

また、別件で以下のような意見もでる。

- ・ 時間帯もこの時間帯でいいと思う。さっき4つに分けてほしいという意見もありましたが、自分は1時間の一本でやったほうがいいのかと思いました。対象の年代の方々は、この時間帯に聞く人が多いと思う。農作業している人も、いったん家に帰ってご飯を食べて、その後1時ごろからゆっくりしながらラジオを聴くという時間帯。そのあと3〜4時ぐらいからまた動き出すと思うので。ちょうどゆっくりする、いい時間帯ではないかと思います。
- ・ 今後、この年代を狙った番組はこの一本のつもりでしょうか？
→増やしたいですね。この年代のリスナーの方は多いと思うので。
- ・ 前言っていた、朝の6時〜7時などの時間帯も再放送としてはいいですね。早起きの年配の方々を対象として。

(2) 次回の審議議題について

「はまだまーぼのあっただんまドゥシ！」について

一放送局 元井より

この番組は、放送開始から2年半、先日第70回目の放送を迎えました。ゲストの方が、次のゲストの方を紹介して、どんどんゲストをつないでいく、という形です。普通に島で生活している人がゲストに登場し、その人の人となりや1時間かけてじっくり聞いていくというものです。コーナーとしては、ゲストにお勧めのお土産を持ってきてもらい、どんなものが好きか？どこで生まれたか？などの切り口から入って、後半に、思い出の曲を一曲、最後に感謝の手紙を朗読してもらいます。キーワードは「感謝の手紙」ということだけ決めていて、ゲストの方が今、感謝をしたい方、親、恋人、友達などに宛てた手紙を朗読し、その人がどういう人かを探っていこうという番

組です。

次回は、8月17日19:30からと決まる。

(3) その他質問、感想など

川畑委員

気になる点としては、放送中、音楽が流れ、知っている曲が流れて気分良く口ずさんでいると、スパッと曲が切れることです。それをちょっと改善していただけるとありがたいです。途中で切れるにしても、だんだんボリュームが下がっていった切れるとか、そういう終わり方がありがたいです。

もうひとつは、5月1日からサイマルが始まりましたが、それまでは車でしか聞いていなかったのが、ネットから聞けるようになって、最近仕事しながらよく聞いています。それで、シマグチなどをよく聞くようになって、両親とともに仕事をしているのですが、知らないシマグチが出たらすぐに母に聞いたりして勉強になったりとか、そういうコミュニケーションが増えたりしたこともあり、うれしいです。

三井委員

ラジオを家で流すのですが、うちの母はNHKが好きで聞きたがりますので、いつも口論になります(笑)。例えば島のこと、歴史や奄美の知識などを、堅めの番組として流している番組はありますか？

→今のところ、歴史ものではないですが、復帰のときに絞ったものは月に一回ありますが、特に研究もののような番組はまだありませんね。

意外と、そういったまじめなものも聞きたい人もいるのではないのでしょうか。地域のこととか、私は健康などに興味があるので、薬草とか、島ならではの健康法など、そういったものも一つあれば母にも聞いてもらえるのに、と思います。

深田委員長

集落の地名など、地形がこうだから、とか、うんちくを知れるような番組とかいいですよ。誰かに話したくなるような話のネタになるような。

→ナキワキ島自慢というコーナーは、たまに伝統文化などを紹介する回もあります。今週はガヤマキのことを取材しています。今後は、そういった「シマジマの」ということに立ち返るという意味で、集落ごとにフォーカスをあてて、順をおって紹介できたらいいなと思っています。

→確かに、週に一回などで、きちんとそういったコーナーを設けた番組はなかったと気づきました。

深田委員長

こないだ、しーまのバスツアーをしたときに、なんでこんなこと知ってるの？というようなネタを持った人が集まって、みんなそれを言おう言おうと思っている人ばかりで、そうしたら出るネタが全部面白くて時間を忘れてました。60項目ぐらいそんな項目が集まりました。浦賀にペリーきて、そのまま奄美に寄った話とか、グラバーさんの砂糖工場の話やら瀬戸内のバナナパンの話、それから派生した与論や喜界にもあるというバナナパンの話、西古見の夕日が日本で3番にきれいという話が出たり。みんな教えたいような話のネタがたくさんあり、そういうのを汲み

取って何かやるのも面白いかもしれませんね。

稲沢副委員長

本当に、島ってこんなに面白いのかって思うネタがたくさんあって。知らないことだらけだからかも知れませんが。ひとつの集落だけでもすごいものがたくさんあるなど。英会話のオバでもやっているような、それぞれの集落の言葉でなんていうか。というような話も面白いですよね。

深田委員長

そういったネタを探索する、というかレポーターさんが解決するというような番組とか面白いですね。そのときは解決しなくても次回に続く！とかあっても面白いかと。

三井委員

友達のリクエストとして、恋愛相談のコーナーがほしいということでした。

—放送局 麓より、5月1日で4周年を迎えることができたことの報告、お世話になっている皆様のおかげさまであることのお礼、今後の意気込みなどが述べられた後、新入社員 渡武志、上野紋の紹介があり、閉会となる。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成23年6月30日(木曜日)17:30～「ゆびいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き:平成23年6月30日(木曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成23年6月30日(木曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし